

日本を救ったユダヤ人、ユダヤ人を救った日本人

2010/05/19 08:36

ユダヤ人への感謝を忘れなかった昭和天皇

イスラエル大統領「我々は日本国民 のこの行為を永遠に忘れません！」

数日前にyou tubeで動画を探していたら、偶然「樋口季一郎物語」の新作の動画を見つけしまいました([furanful](#) さんに感謝)。この話(実話です)が私は大好きで過去にもエントリーで取り上げています。これは[杉原千畝](#)物語と同様に、日本が迫害されているユダヤ人を救出した誇らしいストーリーですね。キーワードは「八紘一宇」と「武士道」。しかし、実はその前、明治時代には日本がユダヤ人に助けられているのです。

それが明治時代、日本が乾坤一擲の勝負に出た「日清戦争」と「日露戦争」に於ける戦費の調達にユダヤ人が協力してくれたことです。これを明治天皇は非常に恩義に感じられ、その意は昭和天皇にまで受け継がれます。昭和天皇の大葬の礼にはイスラエルの大統領が来日されましたが、大統領は東京のユダヤ人協会の歓迎宴の挨拶の中で上記の救出劇に触れ、「我々は日本国民のこの行為を永遠に忘れません」と語ったのです。

以下、ユダヤ人の視点で日露戦争と日米対立を書いた珍しいサイトから、該当する部分を紹介します。こういう近代史の見方もある、と言う点で珍しい記述ではないでしょうか。全文は非常に長いですが、興味のある方は見出しをクリックすればサイトにリンクしてあります。

誇らしいといえば、[惠隆之介](#)氏が発掘してくれた「海の武士道・敵兵を救助せよ」。これも感激のストーリーでした。いまではDVDの教材として販売されている筈で、こういう動画で近現代史を勉強すれば日本人は自国の歴史にもっと自信を持ち、確実に「良い国」に向かうことでしょう。血圧の上がることの多い毎日ですが、お時間があったら動画とともにおつきあい下さい。



オポートル事件 ユダヤ人を救った日本陸軍軍人

「日露戦争」と「日米対立」と「日中戦争」の舞台裏

～ [イギリス](#)、[ロシア](#)、[アメリカ](#)の極東戦略の実態 ～

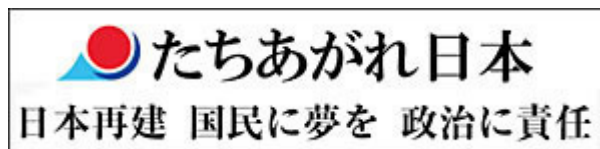
■第二章「日清戦争」で日本を援助したユダヤ人マーカス・サミュエル

●1894年「日清戦争」が勃発すると、「シェル石油」の創業者である[イギリス](#)のユダヤ人マーカス・サミュエルは、日本軍に、食糧や、石油や、兵器や、軍需物質を供給して助けた。

●そして戦後、日本が清国から台湾を割譲されて、台湾を領有するようになると、サミュエルは日本政府の求めに応じて、台湾の樟脳の開発を引き受けるかたわら、「アヘン公社」の経営に携わった。

日本が領有した台湾には、中国本土と同じように、アヘン中毒者が多かった。日本の総督府はアヘンを吸うことをすぐに禁じても、かえって密売市場が栄えて、治安が乱れると判断して、アヘンを販売する公社をつくって、徐々に中毒患者を減らすという現実的な施策をとった。

サミュエルは、これらの大きな功績によって、明治天皇から「勲一等旭日大綬章」という勲章を授けられている。



●サミュエルは、イギリスに戻ると名士となった。そして1902年に、ロンドン市長になった。ユダヤ人として、5人目のロンドン市長である。彼は就任式に、日本の林董(はやし ただす)駐英公使を招いて、パレードの馬車に同乗させた。

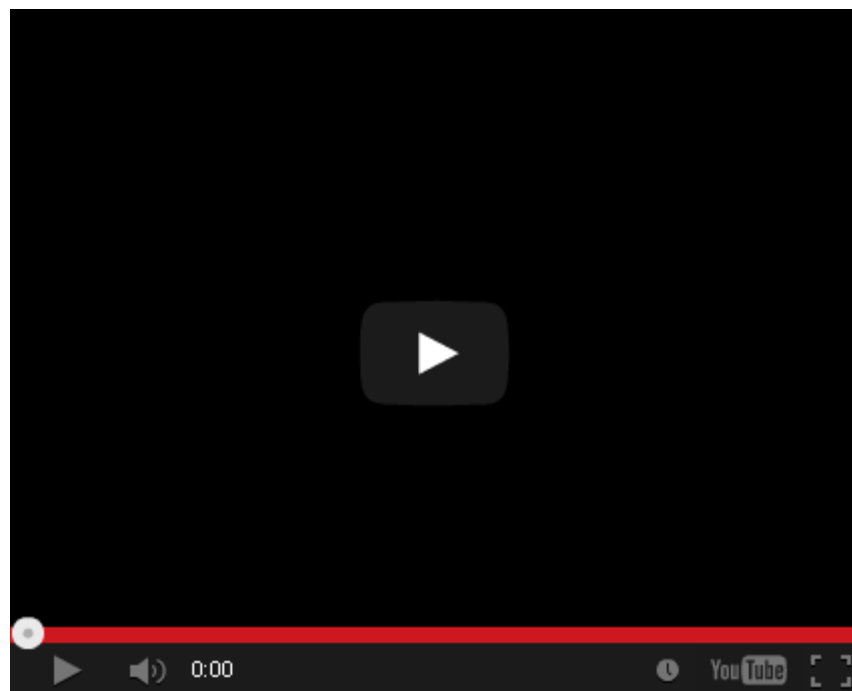
この年1月に「日英同盟条約」が結ばれたというものの、外国の外交官をたった一人だけ同乗させたのは、実に異例なことだった。この事実は、彼がいかに親日家だったかを示している。

(ちなみに、2台目の馬車には、サミュエルのファニー夫人と、林公使夫人が乗った)。

●サミュエルは1921年に男爵の爵位を授けられて、貴族に列した。その4年後には、子爵になった。サミュエルは「どうして、それほどまでに、日本が好きなのか？」という質問に対して、次のように答えている。

「中国人には表裏があるが、日本人は正直だ。日本は安定しているが、中国は腐りきっている。日本人は約束を必ず守る。中国人はいつも変節を繰り返している。したがって日本には未来があるが、中国にはない。」

●その後、ロンドンに、サミュエルの寄付によって「ベアステッド記念病院」が作られ、彼は気前のよい慈善家としても知られるようになったが、1927年に、74歳で生涯を閉じた。



Japanese Holocaust Rescuer: Sugihara 'Sempo' Chiune

■第三章:「日露戦争」で日本を援助したユダヤ人ヤコブ・シフ

●「日清戦争」勝利後、日本は、帝国ロシア南下政策と中国の権益をめぐって「日露戦争」(1904年)を行った。しかし、日本はわずか1億7000万円の予算しか持っていないので、戦費を海外から調達しなければならなかった。

当時の日銀副総裁の高橋是清(たかはし これきよ)が日本の公債の買い手を求めて絶望的な気持ちで欧米を駆け回っていたとき、ロンドンで日銀創立の功労者であったシャンドと出会った。そのときシャンドは、ユダヤ系投資銀行「クーン・ローブ商会」を率いるヤコブ・シフを高橋是清に紹介し、ヤコブ・シフは当時2億ドル(現在の1兆円)の公債の引き受けをした。

その動機について、高橋是清は自伝の中で、「ヤコブ・シフは、帝政ロシアのもとで、ユダヤ人は差別を受け、国内を自由に旅行すら出来ず、圧制の極に達していた。そこで、日本に勝たせ、ロシアの政治に一大変革を起こし、ユダヤ人がその圧制から救われることを期待していた」と述べている。

※ このヤコブ・シフと高橋是清の話は、司馬遼太郎の名作『坂の上の雲』(文芸春秋)の第4巻でも紹介されているので、知っている方は多いだろう。

●[ロシア](#)は歴史を通じて、反ユダヤ主義が最も盛んだった国である。

歴代の皇帝は[ロシア正教](#)に改宗しようとしないうダヤ人を圧迫した。19世紀末から20世紀初頭にかけて、帝政[ロシア](#)では激しいユダヤ人虐殺(ポグロム)が進行した。

ヒトラーによるユダヤ人迫害が発生するまで、帝政[ロシア](#)は、間違いなく、ユダヤ人が最も大量に殺された国であった。(当時のロシアは、世界で最も多くユダヤ人が住む国であった)。「ポグロム」は[ロシア](#)から東ヨーロッパにかけて大規模に広がり、この結果、多くのユダヤ人が[アメリカ](#)へ逃げるようになった。



●1905年、「日露戦争」で東洋の島国・日本が勝利すると、全世界のユダヤ人が狂喜した。

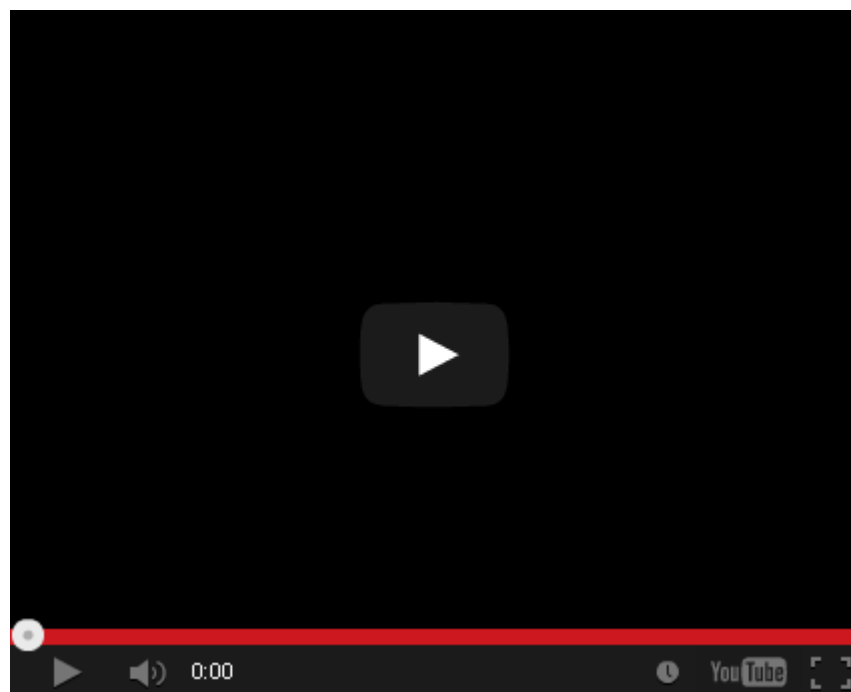
今日のイスラエルの国歌「ハ・ティクヴァ(希望)」の歌詞を書いたユダヤ詩人ナフタリ・インベルは、日本勝利の報せをきいて、明治天皇と日本国民を称える詩を発表した。

有名なミュージカル『屋根の上のバイオリン弾き』の原作者であるユダヤ人文学者シャローム・アライヘムは、1905年にワルシャワで「日露戦争」に題材をとった喜劇を発表し、日本の勝利を称えた。

●敬虔なユダヤ教徒であったヤコブ・シフは、後になって次のように述懐している。

「私は[ロシア](#)におけるユダヤ人虐殺に、深く憤っていた。[ロシア](#)帝国に対して立ち上がった日本が、[ロシア](#)を罰する“神の杖”であるにちがいないと、考えた。」

「日露戦争後(1906年)、私は日本政府の招待によって、初めて日本を訪れた。明治天皇は私に親しく感謝を述べられた。皇居では完璧に西洋流の、美味しい料理が供されたが、食卓の飾りつけも、西洋式にきわめて洗練されたものだった。明治天皇は健啖(けんたん)で、ユーモアに溢れていられた。ご自分の治世が始まったころの愉快だった逸話について、自由闊達に話された。」



敵兵を救助せよの完結版『海の武士道』
1/6 2/6 3/6 4/6 5/6 6/6

●この明治天皇のユダヤ人への感謝の思いは、昭和天皇にも引き継がれていた。

外交評論家の加瀬英明氏は、次のように述べている。

「もし、日本が日露戦争に敗れていたとしたら、日本はロシアによって支配されていたから、今日の日本はありえなかった。他界されてしまったが、私はイスラエルのモシェ・パルトゥール駐日大使と親しかった。大使は1966年から5年にわたって、東京に在勤された。

私は大使からきいたが、着任してすぐに、皇居において信任状の奉呈式が行なわれた。その時に、昭和天皇から『日本民族はユダヤ民族に対して、感謝の念を忘れません。かつて、わが国はヤコブ・シフ氏に大変にお世話になりました。この恩を忘れることはありません』という、お言葉をいただいた。

大使は陛下の思いがけないお言葉に、驚いた。ところが、ヤコブ・シフという人物について知識がなかった。そのために大使館に戻ってから、急いで調べた。昭和天皇は明治天皇を慕っていたので、日本がヤコブ・シフとユダヤ人によって救われたことをよく知っていた。



昭和天皇は日本国民のほとんど全員が、日露戦争について関心を失っていたというのに、日本の運命を決定した日露戦争を、昨日のこのように覚えていられたのだった。私は深く感動した。」

●昭和天皇は、その後のイスラエル大使に対しても、信任状の奉呈式が行なわれるたびに、ヤコブ・シフとユダヤ人への感謝を述べ、その上で、新任の大使を労(ぎら)われたという。

昭和天皇とユダヤ人(イスラエル)に関しては、次のような逸話もある。

●1989年、昭和天皇が崩御された。

イスラエルのヘルツォーグ大統領は、「日本はナチスの友邦だったから参列するな」という国内の一部の反対を押し切って、大葬の礼に参列するために来日した。

東京のユダヤ人協会の歓迎の宴に招かれたヘルツォーグ大統領は、こう挨拶したという。

「先の大戦において、多くの国がドアを閉ざしていた頃、日本及び日本の管理地では数万のユダヤ人に避難場所が与えられました。我々は日本国民のこの行為を永遠に忘れません。ユダヤ人に対する日本の態度は、当時ヨーロッパで起きていた事とは全く対照的であり、ひとときわ輝いています。」

●『緊急告知』西田昌司自民党参議院議員

「国民の信を問うため、直ちに衆議院を解散し、総選挙を行うよう求める！！」署名活動をしています。『解散総選挙を求める署名用紙(試用版)はこちら』

●自虐史観を吹き飛ばす映画「凧として愛」の拡散にご協力下さい。

●DVDはこちらでお求め下さい。

これが正しい歴史、日本が好き日本人は必見！

- ニコ動画版 凧として愛 ニコ1/3 2/3 3/3
- you tube版 凧として愛 1 2 3 4 5 6 7
- 注目・名作映画 氷雪の門 1/3 2/3 3/3
- 誇り～伝えよう日本のあゆみ～ 1/3 2/3 3/3
- 日本の童謡をいつまでも ふるさと-JAPAN
- めぐみ(日本語) 1/3 2/3 3/3
- 日本がアジアに残した功績
- 真実はどこに・・・

カテゴリ: [政治も](#) フォルダ: [指定なし](#)   

コメント(17)

タグ: [樋口季一郎](#) [杉原千畝](#) [ユダヤ人](#) [日清戦争](#) [日露戦争](#) [明治天皇](#) [昭和天皇](#) [八紘一宇](#) [武士道](#) [惠隆之介](#) [敵兵を救助せよ](#)

コメント(17)

コメントを書く場合はログインしてください。



Commented by **gabacho** さん

2010/05/19 09:20

花うさぎさん、おはようございます。いつも素晴らしいスレに感謝です。

> 日本及び日本の管理地では数万のユダヤ人に避難場所が与えられました。

このヘルツォーク大統領の話に補足・蛇足をさせていただきますと、「日本の管理地」で主要なものは満州国のことで、シベリア鉄道を經由して亡命してきたユダヤ人を満州国は積極的に受け入れていました。

満州国は「五族協和」、つまり漢、満州、蒙古、朝鮮、日本の5つの民族を指しますが、その他にユダヤ人、さらに忘れてならないのは、[ロシア革命](#)で追われた白ロシア人もたくさんいたことですね。



Commented by **花うさぎ** さん

2010/05/19 09:58

To gabachoさん おはようございます。

>シベリア鉄道を經由して亡命してきたユダヤ人を満州国は積極的に受け入れていました。

はい。

>その他にユダヤ人、さらに忘れてならないのは、[ロシア革命](#)で追われた白ロシア人もたくさんいたことですね。

おお～白ロシア人にまでは思いが届きませんでした。ご教授感謝です。満州国は人道、人種差別の視点から見ても「王道楽土」だったのかも知れませんね。

こういう話が好きなんですよ(^_^)。



Commented by **gyahun** さん

2010/05/19 10:09

しかしユダヤ人はシナ人や朝鮮人同様信用ならない民族ですよ。未だにありもしない[ホロコースト](#)を吹聴しているのですから。

確かにナチスはユダヤ人を隔離したり強制労働で差別的行為を行ったのは事実ですが600万人も殺した、ガス室に送り込んだ、ユダヤ人の絶滅を企んだというのは明らかな嘘です。



Commented by **tropicasso** さん

2010/05/19 13:05

花うさぎさん、こんにちは。

こういう美談を社会科や歴史教科書に掲載すれば日本の学童は胸を張って日本のことを学べますし、自国に対する敬意も愛着も出てきましょう。

[アメリカ](#)ではワシントンやリンカーンは偉人でしょうし、[フランス](#)ではナポレオンやドゴール将軍がそうでしょう。

早く、こういう時代が来る様にしないと長い世代に亘った脳汚染が取り返しがつかない事態に至ってしまいますね。



Commented by **花うさぎ** さん
To gyahunさん こんにちは。

2010/05/19 14:05
2010/05/19 14:07

>未だにありもしないホロコーストを吹聴しているのですから。

その問題と今回のエントリーはわけ考えて頂いた方がよろしいかと。

>600万人も殺した、ガス室に送り込んだ、ユダヤ人の絶滅を企んだというのは明らかな嘘です。

その説には私も同意できますね。



Commented by **花うさぎ** さん
To tropicassoさん こんにちは。

2010/05/19 17:20

>こういう美談を社会科や歴史教科書に掲載すれば日本の学童は胸を張って日本のことを学べますし、自国に対する敬意も愛着も出てきましょう。

と思いますし、また、そうあるべきですね。事実なんですから。

>早く、こういう時代が来る様にならないと長い世代に亘った脳汚染が取り返しがつかない事態に至ってしまいますね。

お説の通り、もう既に危険水域に入っていると思います。



Commented by **すずめめだか** さん
花うさぎさん、こんにちは。

日本人は正直だと海外の方が思っているのを壊しているのが鳩山総理を始めとした今の日本政府と民主党ですね。

ところで、3月に米国のコロラド州ボルダーで、人気あるの日本料理店というところに入りましたら、経営者らしき女性と話したら日本語を流暢に繰る朝鮮半島の方でした。なぜ御国の料理店にしないのかと質問したところ日本料理でないとか許可が下りないとのことでした。カンザスシティやシアトルでも日本料理店ではありますが、経営者はあちらの方を見ました。

日本人との区別がつかない外国人が日本人もどきの店で、もどきのやり方でトラブルが発生したときそれを「日本人も信用できない」との風評が拡散しないと心配です。なにせ彼らは自分に非があっても謝りませんから。



Commented by **花うさぎ** さん
To すずめめだかさん こんにちは。

2010/05/19 18:15

>日本人は正直だと海外の方が思っているのを壊しているのが鳩山総理を始めとした今の日本政府と民主党ですね。

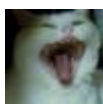
その通り、ズバリです。

>日本人も信用できない」との風評が拡散しないと心配です。

韓国の売春婦が海外で「日本人」といって客引きしている例もありますし、なりすましを恥とも思わない卑怯な民族ですね。

>なにせ彼らは自分に非があっても謝りませんから。

はい。反対に日本人は悪くなくてもすぐ謝るという習性があります。日本国内では通じてても海外では全く通じないということを知する必要がありますね。



Commented by **kenzo1348** さん
こんにちは。

2010/05/19 18:36

今日の「ニュースアンカー」特に必見です。

2010/05/19 19:28

初めの部分で青山氏が「10キロ圏内の殺処分を決定＝政府の口蹄疫対策本部」に関するお粗末の発言「・・・チマチマしたことをやってもしょうがない・・・」に激怒しますが、私はたまたまその前にケーブルテレビを見ていたので、お粗末のこのフレーズの全文をメモしていました。

曰く「ここまで来たら、後追いでチマチマした事をやってもしょうがないから、そこまでやるかと言う所まで踏み込んでやりたい」何だこれは？

日替わりで国民から嘲笑され、国民を怒らせるこの基地外・狂人集団を許してはいけない。

個別の亡国法案に反対する集会やデモをやってももう遅い。今こそ日本史上最大規模の国民総決起デモが必要です。

先週のアンカーで青山氏の締めくくりのコメント「今こそ国民が声をあげる時、参議院選挙ではもう遅い」。



Commented by **花うさぎ** さん

To kenzo1348さん こんばんは。

>今日の「ニュースアンカー」特に必見です。

情報感謝です。これから見るのが楽しみです(^.^)。

>先週のアンカーで青山氏の締めくくりのコメント「今こそ国民が声をあげる時、参議院選挙ではもう遅い」。

なるほど。負けると判っていたら、破れかぶれで強行採決連発しても反日法案を通すでしょう。本当にそう思います。



Commented by **しばりよう** さん

こんばんわ。

いつも、良いお話ありがとうございます。

過去の日本人は多くの外国から、尊敬されていたのですね。

今の日本、尊敬する外国人は、いないでしょうね。

これほど、日本人が、無視され、尊敬されない国になってしまったのが、情けないです。もう、国民が立ち上がらないで、どうするのでしょうか。世界のわらいもの、無能な、日本をさらけ出す、屈辱です。タイのあの無謀なエネルギーが、今の日本には、必要では。

2010/05/19 21:52



Commented by **tom-h** さん

<http://murai.iza.ne.jp/blog/entry/1605509/allcmt/#C1662689>

↑最後まで赤松大臣の責任をのりくりりとかわす、ネトサヨの哀れな姿www。

2010/05/20 01:06



Commented by **lale** さん

>tom-h さん

>最後まで赤松大臣の責任をのりくりりとかわす、ネトサヨの哀れな姿www。

おはようございます。援護射撃しておきました(笑)

2010/05/20 09:51



Commented by **花うさぎ** さん

To しばりようさん

>過去の日本人は多くの外国から、尊敬されていたのですね。

江戸から明治にかけては激動の時代だったにもかかわらず、日本人の大和魂はいかなく発揮されていたようです。

>タイのあの無謀なエネルギーが、今の日本には、必要では。

あのくらいのパワーを是非持ちたいものですね。善し悪しは別として。

2010/05/20 09:53



Commented by **花うさぎ** さん

To tom-hさん おはようございます。

2010/05/20 09:55

>↑最後まで赤松大臣の責任をのりくらりとかわす、ネトサヨの衰れな姿ww
w。

情報ありがとうございます。産経のIZAでこういうブログを開設するとは何か違和感が?
ヤフーとかに行ったらどうかと思いますよ(^^;)。



Commented by **lale** さん

To 花うさぎさん

2010/05/20 11:29

>情報ありがとうございます。産経のIZAでこういうブログを開設するとは何か違和感
が?。ヤフーとかに行ったらどうかと思いますよ(^^;)。

>

tom-hさんの紹介されたブログの方、他の記事でも自分の言う「衰れな姿」をあちこちに見せていて、かわいそうなのでツッコミを入れておきました。この方のブログを「バランスの取れたブログ」と賞賛している方もIzaのサイトにいるようです。。

<http://izawahachiro.iza.ne.jp/blog/>

啞然としました。。。脱線話題ですみません。



Commented by **花うさぎ** さん

To laleさん

2010/05/20 12:02

>啞然としました。。。脱線話題ですみません。

情報ありがとうございます。

いや～本当にいろいろなサイトがIZAの中にもあるものですね(^^;)。